※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	新版応用ペン習字（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書体の基本から発展、実用的な書式まで生活にいかした書を学ぶ。
・用途に応じた筆記用具を用い、多様な表現力を身につける。
・用途に応じた書式を学び、日常生活で活かす能力を育てる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・様々な実用書式を学ぶことにより実務的な知識を身につけ、日常生活で活かす能力を育てる。
・日常生活で活字と手書き文字の違いや用途について理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・用途に応じた用具や用紙、書式を学び、それぞれに応じた表現力を身につける。
・様々な用具を用いるなかで、創造的に構想し個性豊かに表現を工夫する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・授業で取り扱う様々な課題に対して主体的に取り組む態度を養う。
・授業での様々な活動を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・様々な書式や用途に応じた筆記用具の使い方を学ぶことにより実務的な知識を身につける。（知識） ・活字と手書き文字の違いや用途について理解を深め、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。（技能）	・手書き文字の美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、実用書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に文字の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
１学期	楷書・行書	楷書・行書の基本点画 楷書の字形（すき間） 楷書・行書の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）	a:楷書・行書の基本的な字形について理解している。筆ペン等の筆記具を用い、基本的な技能を身につけている。 b:楷書・行書の美しさを感受し、意図に基づいて構想して表現している。 c:主体的に楷書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	作品 鑑賞 レポート	プリント	観察 鑑賞
	ハガキ	**はがき・封筒の書き方** **ハガキ・封筒の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図の応じ表現する。**	a:はがきや封筒を体裁よく書くためのポイントを理解している。 筆ペン等の筆記具を用い、基本的な技能を身につけている b:はがきや封筒などの実用書の美を味わい捉えたりしている。 生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:体裁よく書くために積極的に課題に取り組もうとしている。	作品	プリント 鑑賞 レポート	観察 鑑賞 レポート

※令和４年度以降入学生用

２学期	さまざまな書式	**慶弔の書式** **履歴書の書き方** **ポスター案内状の書き方**	a:慶弔の書式を理解し、体裁よく書くことができる。 a:履歴書の書式を理解し、漢字と仮名を調和させ体裁よく書くことができる。 a:ポスターや案内状の広告的意味を理解できる。 b:用途に合った書式やフォントを用い、目的に合った構成とを考える表現することができる。	プリント 作品	プリント	観察
	ポップ・ポス	楷書の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する（創作）	a:筆ペン等の筆記具を用い、基本的な技能を身につけている。 b:紹介したいものの意図に基づいて構想して表現している。 c:体裁よく書くために積極的に課題に取り組もうとしている。	作品 鑑賞 レポート	プリント 鑑賞 レポート	観察
	手紙の書き方	**手紙の書き方** **手紙の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図の応じ表現する。**	a:手紙を体裁よく書くためのポイントを理解している。筆ペン等の筆記具を用い、基本的な技能を身につけている。 b:手紙の実用書の美を味わい捉えたりしている。生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:体裁よく書くために積極的に課題に取り組もうとしている。	作品	プリント	観察 鑑賞 レポート
３学期	絵手紙	**絵手紙の書き方** **はがきに伝えたい言葉と花や野菜など身近なものを使って表現する。（書画一体）**	a:はがきを体裁よく書くためのポイントを理解している。 筆ペン等の筆記具を用い、基本的な技能を身につけている b:実用書の美を味わい捉えたりしている。 生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:体裁よく書くために積極的に課題に取り組もうとしている。	作品 鑑賞 レポート	プリント	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度